



2025年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年1月14日

上場会社名 株式会社 トレジャー・ファクトリー 上場取引所 東
コード番号 3093 URL <https://www.treasurefactory.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野坂 英吾
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 小林 英治 TEL 03-3880-8822
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年2月期第3四半期の連結業績（2024年3月1日～2024年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期第3四半期	30,515	22.7	2,982	20.5	3,011	20.0	1,958	22.3
2024年2月期第3四半期	24,873	22.0	2,475	30.2	2,509	29.1	1,600	26.7

(注) 包括利益 2025年2月期第3四半期 1,985百万円 (20.4%) 2024年2月期第3四半期 1,648百万円 (30.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年2月期第3四半期	83.58	83.57
2024年2月期第3四半期	68.55	68.30

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年2月期第3四半期	20,427	9,745	47.3
2024年2月期	17,728	8,526	47.8

(参考) 自己資本 2025年2月期第3四半期 9,656百万円 2024年2月期 8,475百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年2月期	—	12.00	—	16.00	28.00
2025年2月期	—	18.00	—		
2025年2月期（予想）				16.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年2月期の連結業績予想（2024年3月1日～2025年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	41,862	21.5	4,041	20.7	4,069	20.0	2,723	21.5	116.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 一社 (社名)、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年2月期3Q	24,347,800株	2024年2月期	24,347,800株
② 期末自己株式数	2025年2月期3Q	911,716株	2024年2月期	939,176株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年2月期3Q	23,430,258株	2024年2月期3Q	23,350,737株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている将来に関する事項は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき記載したものであり、今後様々な要因によって異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項につきましては添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、訪日外国人観光客の増加によるインバウンド需要の拡大や、雇用・所得環境の改善などにより、景気は緩やかに回復傾向となりました。一方で、中国経済の景気減速の懸念や中東情勢の緊迫化など不安定な海外情勢、円安による物価上昇、為替動向の急速な転換など、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

リユース業界においては、社会がよりサステナブルな消費行動へ変化していることや、物価高に伴う中古品・リユース品への需要増加などを背景に、引き続き市場全体が拡大しております。

当社グループにおきましては、当第3四半期連結会計期間は、前期に続き堅調に推移し、9-11月の当第3四半期連結会計期間の営業利益は2,982百万円となりました。単体において直営店を16店、グループ会社においては直営店を1店出店し、既存店売上も堅調に推移しました。また、リユース事業を行うグループ会社の株式会社カインドオル（以下「カインドオル」）や株式会社ピックアップジャパンがいずれも堅調に推移し、増収増益となりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高30,515百万円（前年同期比22.7%増）、営業利益2,982百万円（前年同期比20.5%増）、経常利益3,011百万円（前年同期比20.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,958百万円（前年同期比22.3%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

（リユース事業）

連結売上が前年同期比22.4%増、単体の売上は同18.1%増、単体既存店が同7.3%増となりました。カテゴリー別では、衣料は秋冬物需要の伸びを受けて前年同期比22.2%増となりました。電化製品は、9-11月の冬物家電需要を取り込み、前年同期比15.0%増となりました。また、外国人観光客向け販売の伸長などから、ブランド品や腕時計などの服飾雑貨は前年同期比24.0%増、ホビー用品は、前期にグループに加わったゴルフリユース業態の売上貢献とアウトドアやスポーツ用品が堅調に推移していることから同54.8%増と非常に高い伸びとなりました。また、連結のEC販売額は前年同期比29.7%増、単体のEC販売額は同27.8%増となりました。

仕入では、当期連結商品仕入高は前年同期比20.1%増、単体商品仕入高は同11.3%増となりました。単体の買取チャンネル別では、持込買取が同8.9%増と引き続き堅調に推移し、店舗以外の買取チャンネルでは、宅配買取が同9.8%増、出張買取も同29.9%増と好調に推移しました。

出店は、当第3四半期連結累計期間においては、単体にて総合リユース業態を7店、服飾専門リユース業態を6店、古着アウトレット業態2店、スポーツアウトドア専門リユース業態1店、計16店出店しました。出店地域も、関東11店、関西2店、東海3店となり、各地域にバランスよく出店が進みました。また、グループ会社のカインドオルでは直営店を1店出店しました。当第3四半期連結会計期間末における店舗数は、単体で直営店203店、FC店4店の合計207店、グループ全体で合計290店となりました。

以上の結果から、売上高は29,710百万円（前年同期比22.4%増）、セグメント利益は4,420百万円（前年同期比22.3%増）となりました。

（その他）

レンタル事業の「Cariru」では、結婚式などのイベント需要を取り込み、売上は前年同期比5.0%増となったものの、センター移転による費用増などにより、販管費が同20.0%増となったことから、減益となりました。

以上の結果から、売上高は1,119百万円（前年同期比27.4%増）、セグメント利益は17百万円（前年同期比86.0%減）となりました。

（2）当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、現金及び預金が180百万円減少、売掛金が570百万円増加、商品が1,329百万円増加、建物及び構築物（純額）が334百万円増加、のれんが35百万円減少、敷金及び保証金が357百万円増加したこと等により、前連結会計年度末と比較して2,699百万円増加し、20,427百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、短期借入金が1,076百万円増加、未払法人税等が202百万円減少、長期借入金が82百万円減少したこと等により、前連結会計年度末と比較して1,479百万円増加し、10,681百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純利益を1,958百万円計上、配当金の支払いにより796百万円減少したこと等により、前連結会計年度末と比較して1,219百万円増加し、9,745百万円となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年2月期の通期の連結業績予想につきましては、2024年7月10日に発表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,617	2,436
売掛金	1,174	1,745
商品	6,899	8,228
その他	772	938
流動資産合計	11,464	13,348
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,815	2,149
土地	426	426
その他（純額）	590	788
有形固定資産合計	2,831	3,364
無形固定資産		
のれん	361	325
その他	158	164
無形固定資産合計	520	490
投資その他の資産		
敷金及び保証金	2,274	2,631
その他	638	592
投資その他の資産合計	2,912	3,223
固定資産合計	6,264	7,078
資産合計	17,728	20,427

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	116	172
短期借入金	2,506	3,583
1年内返済予定の長期借入金	918	1,151
未払法人税等	694	491
契約負債	97	131
返金負債	49	57
賞与引当金	455	248
株主優待引当金	6	2
資産除去債務	9	52
その他	1,572	2,087
流動負債合計	6,426	7,978
固定負債		
長期借入金	1,962	1,880
資産除去債務	786	797
その他	26	25
固定負債合計	2,775	2,702
負債合計	9,202	10,681
純資産の部		
株主資本		
資本金	906	906
資本剰余金	857	865
利益剰余金	7,296	8,458
自己株式	△603	△585
株主資本合計	8,458	9,645
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	17	11
その他の包括利益累計額合計	17	11
新株予約権	3	—
非支配株主持分	47	89
純資産合計	8,526	9,745
負債純資産合計	17,728	20,427

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第3四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2023年3月1日 至 2023年11月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2024年3月1日 至 2024年11月30日）
売上高	24,873	30,515
売上原価	9,498	12,188
売上総利益	15,375	18,326
販売費及び一般管理費	12,899	15,344
営業利益	2,475	2,982
営業外収益		
受取利息	0	1
為替差益	8	5
自販機収入	10	11
助成金収入	0	—
その他	27	31
営業外収益合計	48	50
営業外費用		
支払利息	10	19
その他	4	1
営業外費用合計	15	20
経常利益	2,509	3,011
特別利益		
固定資産売却益	0	—
特別利益合計	0	—
特別損失		
固定資産除却損	1	5
特別損失合計	1	5
税金等調整前四半期純利益	2,508	3,005
法人税、住民税及び事業税	732	940
法人税等調整額	137	74
法人税等合計	869	1,014
四半期純利益	1,638	1,991
非支配株主に帰属する四半期純利益	37	32
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,600	1,958

（四半期連結包括利益計算書）
（第3四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2023年3月1日 至 2023年11月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2024年3月1日 至 2024年11月30日）
四半期純利益	1,638	1,991
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	10	△6
その他の包括利益合計	10	△6
四半期包括利益	1,648	1,985
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,610	1,952
非支配株主に係る四半期包括利益	37	32

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)
減価償却費	380百万円	531百万円
のれんの償却額	12百万円	35百万円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2023年3月1日 至 2023年11月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書計上額 (注) 3
	リユース事業				
売上高					
外部顧客への売上高	24,270	603	24,873	—	24,873
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	274	274	△274	—
計	24,270	878	25,148	△274	24,873
セグメント利益	3,614	121	3,736	△1,260	2,475

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、レンタル事業、システム事業、不動産事業等を含んでおります。

(注) 2 セグメント利益の調整額は全社費用であり、主にセグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

(注) 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「リユース事業」セグメントにおいて、2023年11月30日をみなし取得日としてアクオ株式会社の株式を取得したことにより、同社を連結の範囲に含めております。当該事象により、のれんが309百万円発生しております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2024年3月1日 至 2024年11月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書計上額 (注) 3
	リユース事業				
売上高					
外部顧客への売上高	29,710	804	30,515	—	30,515
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	314	314	△314	—
計	29,710	1,119	30,829	△314	30,515
セグメント利益	4,420	17	4,438	△1,456	2,982

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、レンタル事業、システム事業、不動産事業等を含んでおります。

(注) 2 セグメント利益の調整額は全社費用であり、主にセグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

(注) 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。